

Assist home 住まいる通信

2019年
7月号

「発行」(有)アシストホーム

7月に入りました！しばらく暑い日が続きますね。皆様体調を崩されないように、室内の温度調整や水分補給をしましょう！家の中にも熱中症になります。皆様のお家の断熱性能は大丈夫でしょうか。今回は、断熱性能に関する情報をお伝え致します。

いまお住まいの家、暑さ&寒さのお悩みはございませんか？

冷暖房の効きが悪い

冬、洗面所やトイレが寒い

夏、2階の部屋が暑い

部屋の中が凍えるくらい寒い

夜まで熱気がこもって寝苦しい

このようなお悩みは、もしかしたら家の断熱性能が不十分なのかもしれません。

例えば、外壁や間仕切りに隙間があったり、断熱材が剥がれ落ちて隙間が出来ていたり、軒天の換気数が少なかったり、設置されていなかったりなど……。原因は色々あります。

家の断熱性能が不十分であれば、夏は熱中症になったり、冬は冷え性やヒートショック（暖かい場所から寒い場所に移動するとき、温度差が身体に負荷をかけること）になったりします。このように住んでいる人の健康リスクを高めてしまうこともあります。

【暑さ・寒さの原因は、断熱材がこんな感じになっているかもしれません！】

断熱材が落ちている

隙間が空いている

断熱材が入っていない

結露で腐朽している



断熱リフォームには省エネルギー基準が一つの指標になります。



この表は長期優良住宅(新築や増改築)の認定基準でもあります。例えば築20~30年の住宅には断熱材が入っていない部分や、薄い断熱材しか入っていない住宅もあります。このような住宅は、等級1、2になります。断熱効果の等級4位に向上させるには、家の側面(天井・壁・床・窓)の全部位の遮断性能を向上させることが大切です。※断熱リフォームをするときは、一緒に耐震リフォームをしておくことをおすすめします。

断熱リフォームのメリット(室内の温度環境と省エネルギーの改善になります)

- ★温度環境の改善
夏・冬の室内温度が、断熱材を外壁と内壁の間に入れることによって、効率的に冷暖房で最適な室内温度に保たれることが出来るようになります。
- ★省エネルギー性
冷暖房の効率が良くなり、省エネルギーにも繋がります。(光熱費の節約になりますね！)

次号は断熱リフォームの情報をお伝えします！

お問合せ等 お気軽にお電話ください アシストホーム 046-877-1127